

鈴鹿亀山地区

サービス提供事業所調査 調査票

● 調査ご協力をお願い ●

日頃は、介護保険事業の運営にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

現在、鈴鹿亀山地区広域連合では、令和6年度から実施する「第9期介護保険事業計画」の策定作業を進めております。

この調査は、介護保険事業の円滑な実施と、高齢者の保健福祉サービスを充実させるための基礎資料とさせていただくものです。アンケートの集計結果などにつきましては、コンピュータで統計的に処理します。個別の回答内容が漏れるなど、みなさんにご迷惑をおかけすることはございませんので、率直なご意見をお聞かせいただきたく存じます。

なお、この調査は鈴鹿亀山地区広域連合管内の介護保険サービスの提供事業所を対象としております。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、アンケート調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和4年11月

鈴鹿亀山地区広域連合

<ご記入にあたっての注意事項>

- この調査は、**事業所単位**でお答えいただきます。複数の事業所が同一建物内などに所在する場合でも、恐れ入りますが**事業所ごとにご回答**ください。回答に当たっては、当該事業所の**管理者の方**がお答えください。
- 原則として、**令和4年11月1日（基準日）**現在の状況について、あてはまる**番号に○**をつけてください。また、〔 〕内にはその内容を具体的にお書きください。できるだけ**黒のボールペンか鉛筆**でお願いします。答えにくい質問には答えていただかなくてもかまいません。
- 1つだけ答えていただく質問と、複数お答えいただく質問とがありますので、質問をよく読んでお答えください。また、お答えの内容によっては、次に答えていただく質問が変わるものがあります。質問の指示にしたがってください。
- 回答が終わりましたら、記入もれなどがないか確認していただき、**同封の返信用封筒に入れて、12月23日（金）までに**郵便ポストに投函してください。切手を貼る必要はありません。
- このアンケートについてのお問い合わせは下記までお願いします。

鈴鹿亀山地区広域連合 介護保険課 管理グループ 電話 059-369-3204

あて名の
事業所名

貴事業所の状況についてお伺いします

すべての事業所にお伺いします。

問1 貴事業所の経営主体はどれですか。(複数選択可)

- | | | |
|-----------|----------|-----------|
| 1. 社会福祉法人 | 3. NPO法人 | 5. 有限会社 |
| 2. 株式会社 | 4. 医療法人 | 6. その他〔 〕 |

問2 貴事業所の運営（経営）状況はいかがですか。(1つを選択)

- | | |
|----------|----------|
| 1. 非常によい | 3. やや悪い |
| 2. ほぼ順調 | 4. 非常に悪い |

問3 介護保険制度が導入されてから現在までに、以下の経営改善等に関することを行いましたか。(複数選択可)

- | | |
|-------------------|-------------------|
| 1. 経営指導又は診断を受けた | 7. 従事者研修を実施した |
| 2. 他の事業所との連携を図った | 8. PR活動を行った |
| 3. 従事者を確保又は増員した | 9. 相談・苦情処理体制を整備した |
| 4. 出資等による資金確保を行った | 10. 設備を改善した |
| 5. 雇用条件を改善した | 11. その他〔 〕 |
| 6. 融資又は融資枠を確保した | 12. 特になし |

介護サービスについてお伺いします

すべての事業所にお伺いします。

問4 貴事業所が現在、サービスを提供している地域をお答えください。（複数選択可）

1. 鈴鹿市・亀山市全域	2. 鈴鹿市全域	3. 亀山市全域
鈴鹿市		
鈴鹿第1・・・	4. 加佐登	5. 石薬師
	8. 深伊沢	9. 鈴峰
鈴鹿第2・・・	11. 国府	12. 庄野
鈴鹿第3・・・	15. 河曲	16. 一ノ宮
鈴鹿第4・・・	18. 長太	19. 箕田
鈴鹿第5・・・	21. 玉桜	
鈴鹿第6・・・	22. 稻生	23. 飯野
鈴鹿第7・・・	24. 白子	25. 鼓ヶ浦
鈴鹿第8・・・	28. 栄	29. 郡山
		30. 天名
亀山市		
亀山第1・・・	32. 井田川北	33. 井田川南
	36. 東部	37. 南部
亀山第2・・・	39. 白川	40. 神辺
	43. 城西	44. 城北
	47. 北東	48. 天神・和賀
	51. 関南部	52. 坂下
		53. 加太
		34. 川崎
		35. 野登
		38. 昼生
		41. 野村
		42. 城東
		45. 御幸
		46. 本町
		49. 関宿
		50. 関北部

問5 貴事業所の所在地をお選びください。
（1つを選択、区域は問4を参考にしてください）

1. 鈴鹿第1	4. 鈴鹿第4	7. 鈴鹿第7	9. 亀山第1
2. 鈴鹿第2	5. 鈴鹿第5	8. 鈴鹿第8	10. 亀山第2
3. 鈴鹿第3	6. 鈴鹿第6		

問6 貴事業所において実施されているサービスはどれですか。（複数選択可）

【介護給付】	
＜居宅サービス＞	＜地域密着型サービス＞
1. 訪問介護	14. 認知症対応型通所介護
2. 訪問入浴介護	15. 小規模多機能型居宅介護
3. 訪問看護	16. 認知症対応型共同生活介護
4. 訪問リハビリテーション	17. 地域密着型特定施設入居者生活介護
5. 居宅療養管理指導	18. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護
6. 通所介護	19. 地域密着型通所介護
7. 通所リハビリテーション	20. 看護小規模多機能型居宅介護
8. 短期入所生活介護	
9. 短期入所療養介護	＜介護保険施設サービス＞
10. 特定施設入居者生活介護	21. 介護老人福祉施設
11. 福祉用具貸与	22. 介護老人保健施設
12. 福祉用具販売	23. 介護療養型医療施設
13. 住宅改修	24. 介護医療院
【予防給付】	
＜居宅サービス＞	
25. 介護予防訪問入浴介護	33. 介護予防福祉用具貸与
26. 介護予防訪問看護	34. 介護予防福祉用具販売
27. 介護予防訪問リハビリテーション	35. 介護予防住宅改修
28. 介護予防居宅療養管理指導	
29. 介護予防通所リハビリテーション	＜地域密着型サービス＞
30. 介護予防短期入所生活介護	36. 介護予防認知症対応型通所介護
31. 介護予防短期入所療養介護	37. 介護予防小規模多機能型居宅介護
32. 介護予防特定施設入居者生活介護	38. 介護予防認知症対応型共同生活介護
【総合事業】	
39. 訪問型サービス	40. 通所型サービス
【その他】	
41. 養護老人ホーム	43. 有料老人ホーム（特定施設を除く）
42. 軽費老人ホーム	44. サービス付き高齢者向け住宅（特定施設を除く）

問7 貴事業所におけるサービス提供はどのような状況ですか。（1つを選択）

1. 稼働できる限度一杯で提供している
2. 定員に達していないが、人員面で限度一杯である
3. 高い利用率だが、受け入れる余裕はある
4. 低い利用率である

問 8 サービスについて、事業を運営する上での課題は何ですか。（複数選択可）

1. 困難事例が多い
2. 利用者や家族が介護保険制度やサービスをよく知らない
3. 利用者等からの苦情の対応
4. 利用者の身体等の状況の把握が難しい
5. 設備・職員等が不足し量的に利用者のニーズに答えられない
6. 職員の育成
7. 職員が短期間に離職する
8. 超過勤務、休日出勤が多い
9. 新規利用者の獲得が困難
10. 利用者数が定数に満たない
11. 利用者のサービス利用量が少ない
12. 介護報酬が低い
13. 他の事業所との競合が激しい
14. サービス提供地域が広範囲なため非効率
15. 介護保険制度(介護報酬・総合事業等)に関する情報が速やかに入手できない
16. 法令や制度改正等の内容を十分理解できない
17. インフォーマル情報が入手できない
18. 他の事業所との連携
19. 医療機関との連携
20. 市・広域連合との連携
21. 地域包括支援センターとの連携
22. その他〔
23. 特に課題はない

問 9 災害や感染症の発生時を想定した業務継続計画（BCP）を令和5年度中に作成することになっています。貴事業所では、作成に取り組まれていますか。（1つを選択）

1. すでに作成済み
2. 現在作成中
3. 期限内に作成を予定している
4. その他〔

問 10 貴事業所において、サービスの質的向上を図る上での課題は何だと思われますか。（複数選択可）

1. 担当者間でのレベルの差が大きい
2. 職員の入れ替わりが激しい
3. 利用者の声がサービスの質的向上に生かされていない
4. 適切な研修の機会が不足している
5. 第三者評価が活用されていない
6. その他〔
7. 特に課題はない

問 11 サービスの質を高めるために貴事業所が行っていることはどんなことですか。
(複数選択可)

1. 利用者及び家族との面談の時間を十分にとる
2. 利用者の苦情や不満をくみ取る
3. 新たな介護知識や介護技術の導入に努める
4. 職員の研修の機会を充実させる
5. 新たな施設や設備の導入に努める
6. 利用人数をできる限り抑えるようにする
7. その他〔

〕

問 12 貴事業所では、利用者や家族からの相談や苦情についてどのように対応していますか。(複数選択可)

1. 相談・苦情専門の担当を配置している
2. 担当が個別に対応している
3. 苦情対応マニュアルを作成している
4. 利用者アンケートを実施している
5. 地域包括支援センターに相談している
6. 市役所に相談している
7. 鈴鹿亀山地区広域連合に相談している
8. 国民健康保険団体連合会に相談している
9. その他〔
10. 相談や苦情はない

〕

問 13 貴事業所は、今後、どのようにサービスを展開していこうとお考えですか。
(1つを選択)

1. 現在実施しているサービスの事業拡大
2. 現在実施しているサービスの事業拡大を図りつつ、未実施のサービスへの事業拡大
3. 未実施のサービスへの事業拡大
4. 現状維持
5. サービス種類を絞り込み、集中して実施
6. 現在実施しているサービスの事業縮小
7. 早い時期に事業撤退
8. その他〔

〕

問 14 へ進む

問 13-②へ進む

問 13 で「1」～「3」と回答した事業所にお伺いします。

問 13-② 貴事業所において今後、参入・拡充を考えている介護保険サービスはありますか。(複数選択可、施設サービスについては定員も記入)

【介護給付】

<居宅サービス>

1. 居宅介護支援
2. 訪問介護
3. 訪問入浴介護
4. 訪問看護
5. 訪問リハビリテーション
6. 居宅療養管理指導
7. 通所介護
8. 通所リハビリテーション
9. 短期入所生活介護
10. 短期入所療養介護
11. 特定施設入居者生活介護
12. 福祉用具貸与
13. 福祉用具販売
14. 住宅改修

<地域密着型サービス>

15. 認知症対応型通所介護
16. 小規模多機能型居宅介護
17. 認知症対応型共同生活介護
18. 地域密着型特定施設入居者生活介護
19. 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護〔定員 人〕
20. 地域密着型通所介護
21. 看護小規模多機能型居宅介護
22. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
23. 夜間対応型訪問介護

<介護保険施設サービス>

24. 介護老人福祉施設〔定員 人〕
 25. 介護老人保健施設〔定員 人〕
 26. 介護医療院〔定員 人〕
- 〔※介護療養型医療施設からの転換は除く〕

【予防給付】

<居宅サービス>

27. 介護予防支援
28. 介護予防訪問入浴介護
29. 介護予防訪問看護
30. 介護予防訪問リハビリテーション
31. 介護予防居宅療養管理指導
32. 介護予防通所リハビリテーション
33. 介護予防短期入所生活介護
34. 介護予防短期入所療養介護

35. 介護予防特定施設入居者生活介護
36. 介護予防福祉用具貸与
37. 介護予防福祉用具販売
38. 介護予防住宅改修

<地域密着型サービス>

39. 介護予防認知症対応型通所介護
40. 介護予防小規模多機能型居宅介護
41. 介護予防認知症対応型共同生活介護

【総合事業】

42. 訪問型サービス

43. 通所型サービス

44. その他〔 〕

再びすべての事業所にお伺いします。

問 14 鈴鹿亀山地区広域連合では、看護小規模多機能型居宅介護サービスと定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスに対し、インセンティブとして令和 4 年 4 月から独自報酬の加算を設定していますが、このことはご存知ですか。(1つを選択)

- 1. 知っている
- 2. 知らなかった

問 15 看護小規模多機能型居宅介護サービスへの参入について、貴事業所ではどのようにお考えですか。(1つを選択)

- 1. ニーズが見込めるので、参入を検討したい
- 2. 採算が見込めるので、参入を検討したい
- 3. ニーズがないので参入しない
- 4. 採算が見込めないので、参入しない
- 5. 参入は検討していない
- 6. わからない
- 7. その他〔

〕

問 16 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスへの参入について、貴事業所ではどのようにお考えですか。(1つを選択)

- 1. ニーズが見込めるので、参入を検討したい
- 2. 採算が見込めるので、参入を検討したい
- 3. ニーズがないので参入しない
- 4. 採算が見込めないので、参入しない
- 5. 参入は検討していない
- 6. わからない
- 7. その他〔

〕

問 17 問 15 及び問 16 のサービスについて、参入を困難にしていることがあるとすれば何ですか。(複数選択可)

- 1. 資金面の問題
- 2. 用地、施設、設備面の問題
- 3. 人材面の問題
- 4. ノウハウ、スキル面の問題
- 5. 設置基準、規制面の問題
- 6. その他〔

〕

問 18 介護予防・日常生活支援総合事業の人員等を緩和した基準による訪問型サービスや通所型サービスへの参入について、貴事業所ではどのようにお考えですか。
(訪問型と通所型それぞれ1つを選択)

【訪問型サービス】	【通所型サービス】
1. ニーズが見込めるので、参入を検討したい	1. ニーズが見込めるので、参入を検討したい
2. 採算が見込めるので、参入を検討したい	2. 採算が見込めるので、参入を検討したい
3. ニーズがないので参入しない	3. ニーズがないので参入しない
4. 採算が見込めないで、参入しない	4. 採算が見込めないで、参入しない
5. 参入は検討していない	5. 参入は検討していない
6. わからない	6. わからない
7. その他〔 〕	7. その他〔 〕
	8. 既に指定を受けている

問 19 問 18 のサービスについて、参入を困難にしていることがあるとすれば何ですか。
(訪問型と通所型それぞれ複数選択可)

【訪問型サービス】	【通所型サービス】
1. 資金面の問題	1. 資金面の問題
2. 用地、施設、設備面の問題	2. 用地、施設、設備面の問題
3. 人材面の問題	3. 人材面の問題
4. ノウハウ、スキル面の問題	4. ノウハウ、スキル面の問題
5. 設置基準、規制面の問題	5. 設置基準、規制面の問題
6. その他〔 〕	6. その他〔 〕
	7. 既に指定を受けている

問 20 今後、事業を展開していく上での課題は何ですか。(複数選択可)

1. 人材の育成、確保	7. 保険者（市）との連携
2. 地域社会での信頼の確保	8. 事業所間の連携
3. 利用者の確保	9. 介護保険制度の P R
4. サービスの質の向上	10. 知名度の向上
5. 事業規模の拡大	11. その他
6. 合理化の実施	〔 〕

問 21 運営指導について、どのように感じていますか。(複数選択可)

1. 制度に対する理解が深まった	4. 準備が大変だった
2. 事業所内で意識が共有できた	5. 思ったよりも拘束時間が長かった
3. 書類やデータが整理できた	6. その他〔 〕

介護人材についてお伺いします

すべての事業所にお伺いします。

問 22 貴事業所における介護職員の総数をお答えください。(数字を記入)

正規職員 人 非正規職員 人

※ここでの「介護職員」は、賃金の支払いを受けている方に限ります（ボランティアの方は含みません）。
 ※また、「正規職員」とは、期限の定めのない雇用契約による職員、「非正規職員」とは期限の定めのある
 有期雇用契約による職員を指します。

**問 23 過去 1 年間（令和 3 年 11 月 1 日～令和 4 年 10 月 31 日）の介護職員の採用者数
 と離職者数をお答えください。(数字を記入)**

採用者数 人 離職者数 人

**問 24 過去 1 年間（令和 3 年 11 月 1 日～令和 4 年 10 月 31 日）、貴事業所における介護
 人材の確保について、おおむねどのような状況ですか。(1つを選択)**

1. 確保できている
 2. おおむね確保できている
 3. あまり確保できていない
 4. 確保できていない

**問 25 過去 1 年間（令和 3 年 11 月 1 日～令和 4 年 10 月 31 日）、貴事業所における職員
 の定着について、おおむねどのような状況ですか。(1つを選択)**

1. 定着し安定している
 2. たまに離職者がいるが、ほぼ安定している
 3. 離職者が多く、不安定である
 4. その他〔 〕

**問 26 貴事業所においては、どの職種がどれくらい不足していますか。
 (当てはまるものに○を付け、不足する人数を常勤換算で〔 〕内に記入)**

1. 介護支援専門員（ケアマネジャー）	〔不足している人数	_____人〕
2. 訪問介護員（ホームヘルパー）	〔不足している人数	_____人〕
3. 介護福祉士	〔不足している人数	_____人〕
4. 精神保健福祉士	〔不足している人数	_____人〕
5. 各種相談員	〔不足している人数	_____人〕
6. 調理師、栄養士	〔不足している人数	_____人〕
7. 医師、歯科医師	〔不足している人数	_____人〕
8. 看護師	〔不足している人数	_____人〕
9. 薬剤師	〔不足している人数	_____人〕
10. 理学療法士、作業療法士	〔不足している人数	_____人〕
11. 言語聴覚士、視能訓練士	〔不足している人数	_____人〕
12. その他〔 _____〕	〔不足している人数	_____人〕

問 27 介護人材の不足に対し、どのようなことが求められると思いますか。(複数選択可)

1. 大学・専門学校での人材育成
2. 地域における人材育成
3. 休職中・退職者の活用
4. 技能実習生の活用
5. 介護ロボットの活用
6. 仕事の効率化
7. その他〔

〕

施設・居住系の事業所における入退居の状況についてお伺いします

施設・居住系サービスを提供している事業所にお伺いします。

※有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅の事業所もご回答下さい。

問 28 貴事業所の令和 4 年 11 月 1 日現在の定員、入所・入居待ち人数と入所・入居状況をご記入ください。(数字を記入)

定員 人 現在の入所・入居待ち人数 人

現在の入所・入居者数 人

うち、鈴鹿亀山地区広域連合管内の方 人

問 29 過去 1 年間（令和 3 年 11 月 1 日～令和 4 年 10 月 31 日）に、貴事業所に新規で入所・入居した人の人数をご記入ください。

新規の入所・入居者数（合計） 人

※貴事業所に入所・入居している方で、一時的な入院等で貴事業所に戻った方は含めないでください。

問 30 過去 1 年間（令和 3 年 11 月 1 日～令和 4 年 10 月 31 日）に、貴事業所を退去した人の人数をご記入ください。

退去者数（合計） 人（※死亡・搬送先での死亡を含む）

※なお、一時的な入院等で貴施設等に戻った方、現在一時的に入院中の方（貴施設等との契約が継続している方）は含めないでください。

問 31 貴事業所の入居・入所者が、退去する理由は何ですか。退去理由として多いものを上位 3 つまで選んで、該当する□に✓を付けてください。

	退去理由「上位 3 つ」に ✓		
	第 1 位	第 2 位	第 3 位
1) 必要な生活支援が発生・増大したから	☐	☐	☐
2) 必要な身体介護が発生・増大したから	☐	☐	☐
3) 認知症の症状が悪化したから	☐	☐	☐
4) 医療的ケア・医療処置の必要性が高まったから	☐	☐	☐
5) 「1」～「4」以外の状態像が悪化したから	☐	☐	☐
6) 状態等が改善したから	☐	☐	☐
7) 入所・入居者が、必要な居宅サービスの利用を望まなかったから	☐	☐	☐
8) 費用負担が重くなったから	☐	☐	☐
9) その他〔 〕	☐	☐	☐

生活支援サービスについてお伺いします

すべての事業所にお伺いします。

問 32 介護予防・日常生活支援総合事業におけるボランティアやNPOによる介護や生活支援サービスについて、どのように評価されていますか。(複数選択可)

- 1. 介護サービスで行き届かない部分を補うことができている
- 2. 利用者の軽い負担で、簡易な手助けをおこなうことができている
- 3. 地域住民がかかわることにより、認知症やうつなどの予防効果につながっている
- 4. あまり活用できていない
- 5. その他〔 〕



問 33 へ進む

問 32 で「1」～「3」と回答した事業所にお伺いします。

問 32-② ボランティアやNPOは、具体的にどのような手助けをすることが有効だと思いますか。(複数選択可)

- | | |
|-------------------|------------------------------------|
| 1. 調理 | 8. 相談相手になること |
| 2. 掃除・洗濯 | 9. 災害時の避難の手助け |
| 3. 買い物(宅配は含まない) | 10. 防犯・防災のための巡回 |
| 4. ゴミ出し | 11. 住居内での困りごと支援
(家具移動や蛍光灯の取替など) |
| 5. 外出同行(通院、買い物など) | 12. その他 |
| 6. 見守り、声かけ | |
| 7. 話し相手になること | 〔 〕 |

問 32 で「4」と回答した事業所にお伺いします。

問 32-③ その理由は何ですか。(複数選択可)

- 1. 提供量が少ないから
- 2. 柔軟な対応ができないから
- 3. 地域による差がみられるから
- 4. 質を担保できないから
- 5. 継続的に提供されるか不透明だから
- 6. 提供内容が分かりづらいから
- 7. その他〔 〕

権利擁護についてお伺いします

すべての事業所にお伺いします。

問 33 過去 1 年間（令和 3 年 11 月 1 日～令和 4 年 10 月 31 日）に、家族介護者等による虐待が疑われるケースにかかわったことがありますか。「ある」に○をつけた方は、〔 〕内にその件数を記入してください。

1. ある〔 〕件 2. ない → 問 34 へ進む

問 33 で「1」と回答した事業所にお伺いします。

問 33－② 貴事業所がかかわった虐待の疑われるケースは、次の分類で何件ずつになりますか。あてはまる分類すべてに○をつけ、件数を記入してください。

1. 身体的虐待……〔 〕件	4. 経済的虐待……〔 〕件
2. ネグレクト……〔 〕件	5. 性的虐待……〔 〕件
3. 心理的虐待……〔 〕件	6. その他……〔 〕件
〔 〕	

問 33－③ 貴事業所が虐待の疑われる事例にかかわったときに、どのような方法で対処しましたか。（複数選択可）

1. 施設・事業所内で対処した
2. 地域包括支援センター、市役所、鈴鹿亀山地区広域連合など、他の施設・機関と連携して対処した
3. 地域包括支援センター、市役所、鈴鹿亀山地区広域連合など、他の施設・機関に対処してもらった
4. 警察に通報した
5. その他〔 〕

地域包括ケアについてお伺いします

すべての事業所にお伺いします。

問 34 地域包括支援センターの機能のうち、充実を望むものはどれですか。(複数選択可)

1. 要介護となる恐れのある高齢者を早期発見し、介護予防を行う
2. 高齢者虐待の相談、対応
3. 成年後見制度の利用支援
4. 介護のことや介護保険利用等の総合相談窓口
5. 要支援の認定を受けた人、基本チェックリスト該当者の介護予防ケアマネジメントの実施
6. 生活機能の低下がみられた方（要介護認定の非該当者、基本チェックリスト該当者等）に向けたプログラム（介護予防教室等）の実施・紹介
7. 高齢者を支援するための地域の見守りネットワークづくり
8. 高齢者が抱える問題に対し、解決に向けた関係機関のネットワークづくり
9. 介護支援専門員への支援や指導
10. その他〔 〕

問 35 鈴鹿亀山地区においては「地域包括ケアシステム」の深化・推進に向けて、さまざまな取組を進めていますが、どのような点で取組が進んでいると思いますか。(複数選択可)

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 地域ケア会議の推進 | 7. 家族介護者への支援 |
| 2. 総合相談と情報提供の充実 | 8. 安定した居住環境の確保 |
| 3. 介護予防の推進と生活支援サービスの充実 | 9. サービス提供基盤の整備 |
| 4. 在宅療養生活の支援 | 10. 災害や感染症への備えの充実 |
| 5. 認知症施策の推進 | 11. 介護保険事業の健全運営 |
| 6. 高齢者の尊厳の保持 | 12. その他〔 〕 |

問 36 家族の介護を理由とする離職者を減らすには、どんなことが必要だと思いますか。(複数選択可)

- | | |
|------------------|---------------|
| 1. 職場の理解や就労環境の向上 | 6. 介護施設の整備 |
| 2. 介護サービスの周知 | 7. 保険外サービスの充実 |
| 3. 相談窓口の充実 | 8. 費用負担の軽減 |
| 4. 介護サービスの充実 | 9. その他〔 〕 |
| 5. 柔軟なサービス提供 | |

問 37 利用者のご家族の中で、サービスを利用しているにも関わらず介護負担が軽減されていないと思われる人はいますか。(1つを選択)

- 1. いる
- 2. いない
- 3. わからない

設問は以上で終了です。
ご意見等がある場合は、下記の記述欄をお願いします。

問 37 で「1」と回答した事業所にお伺いします。

問 37-② 介護負担が軽減されていないのは、主にどんなことが原因だと思いますか。
(複数選択可)

- 1. サービスが十分利用されていない
- 2. サービスが合っていない
- 3. 利用限度額に至っている
- 4. 休日・夜間などの介護が負担になっている
- 5. 認知症の対応が負担になっている
- 6. 介護者の性格のため（心配性、内向的など）
- 7. その他〔

【ご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください】

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れてご返送ください。

なお、令和4年12月中旬以降に要支援・要介護者向け（在宅介護実態調査）、及び要支援者・非該当者向け（介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）といったアンケートを実施いたします。

介護サービスを提供されている事業所の皆さまにおかれましては、その旨、ご承知置きいただきますとともに、可能な範囲でご担当の利用者の方へのご協力をお願いいたします。